

## 過去約1年間の研究経過と成果

続 有 恒

紀要第16巻の原稿が締切られてから、紀要第17巻の原稿が締切られるまでの約1ヶ年間の状況について報告する。

1. 1967年以来継続してきた、質問項目への反応パターンを、全体として解釈することによって、性格適応の診断を試みようとする CDPA の仕事は、一応の区切りがつけられ、1969年12月、金子書房から「臨床的性格適応診断」の書名で、その成果が刊行された。

しかし、この診断結果は、中学・高校の教師用のものであるため、生徒自身に直接示す性質のものではなく、そのために、実際問題として、診断結果を知りたいと思う生徒たちに応えることができない、という不便さがある。そこで、それを解決するための「生徒用」の診断票作りを進めている。

2. 上記の研究は、少くとも性格検査に利用した質問紙法に関する、方法論的問題を内包している。質問一応答を個々に独立のものとして取扱い、応答の段階づけや、段階値の合計などものをいう方法論と、質問一応答が非独立であり、すべての質問一応答が被験者の内部で相互に関連し合っていると考える方法論との対決の問題である。この点について、従来世間で認められている性格検査を素材として検討を進めることを、織田揮準、鈴木真雄両君との共同研究として行なってきた。その第一報告は、1970年3月「教育心理学研究」第18巻第1号に、「質問型式による性格診断の方法論的吟味」として掲載された。第二報告は「教育心理学研究」第19巻に掲載されるよう投稿中である。また、第三報告に相当する部分の研究成果の一部は、第12回の日本教育心理学会総会で、鈴木が報告者となって発表した。今後さらに検討を継続し、逐次学会誌に投稿していく予定である。

3. なお、上記の考え方について、第34回の日本心理学会大会におけるシンポジウム「人格の診断におけるテストの効用と限界」において、「パーソナリティ・インベントリーを中心に」の題目で提言した。その内容の要約は、同大会発表論文集に掲載される予定である。

4. 1967年以来、名古屋大学入学者選抜方法研究委員会の委員長として、本学入試に関する追跡研究を行ない、毎年度、その研究報告書を執筆、公表してきたが、1969年度の分については、本年10月に発表した。ここでは、昭和41年度の入学者について、本年3月卒業時の単位成績、留年状況などと、入試、調査書の成績、教養課程での成績等との関係を調査した。

5. 紀要第17巻にその一部が掲載され、そのなかで研究目的その他が述べられているが、教室の多数の方々の協力を得て、「いわゆる過疎地域」における家族内関係、家族間関係の研究を、本年8月から開始した。

若年層の人口流出という状況下に置かれた家族が、どのような関係の変化を示しているか、いわゆる世帯主やその配偶者など、地域に残住しなければならない人々の意見、態度、見解が、どのような変化を示しているか、地域の変貌にどのように再適応しようとしているか、などが、自分としては主要な研究テーマである。

また、比較的フリーな面接形態をとらざるを得ないこの種の現地調査では、いかにして、立証力のある資料を抽出するか、という方法上の問題も重要である。「研究資料」No.1に掲載したのは、その検討のための基礎資料であるが、これから、どのようにして、「立証された」結論を導き出すかという方法の展開が、今後の大きな課題である。

なお、この研究グループは、今後資料の追加その他のため共同研究を継続していくことになっている。

6. 心理学、とくに教育心理学の方法論の研究は、年来の主題であるが、昨年度から今年度にかけて、大学院の講義として、検討を続けてきた。本年度は、心理学のさまざまな研究法の背後に、いかに「日常的知見」に依存せざるを得ない部分のかくされていることが多いかを、一々指摘していくことが中心になってきた。

この講義を通じての基調となっている考え方を、高木貞二先生喜寿記念論文集「心理学の方法と課題」に、「心理学研究法の基礎について」の題目で投稿した。

7. 研究活動というには、若干疑問もあるが、最後に、一昨年発表した著書「教育評価」に関連して、教育評価の実践面での諸問題を論ずるよう求められることが多かったため、その都度考えをねりながら、以下のような評論をまとめたので、附記しておきたい。

(1) 日本教育新聞社編「教育評価はこれでいいのか」のうち、第二編「その改善と評価像」73～115頁（明彦図書、1970年3月）

(2) 「学力と新しい評価」『千葉教育』163号1970年2月

(3) 「教育評価の今日的課題」『児童心理』24巻3号1970年3月

(4) 「教育評価の新しい展望」『教育研究岩手』18号1970年4月

(5) 「授業と評価」『教育展望』16巻8号 1970年12月